

# 御幸中 学びの道しるべ

小松市立御幸中学校

## 1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	上回る
数学	上回る	大きく上回る
英語	やや下回る	平均並み

今年度より、国語、数学において「知識」「活用」を一体とした調査問題となりました。数学については県並びに全国を上回る結果となりました。国語については全国を上回りましたが、県をやや下回る結果となりました。初めて実施された英語については、県平均をやや下回り、全国と同程度という結果となりました。

どの教科においても、説明したり、表現したりする記述式の設問で課題が見られます。

※ 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、令和元年度より従来のA問題（知識・技能等）とB問題（活用等）という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。

## 2 設問から見える成果（◎）と課題（△）

国語
◎与えられた文章や資料をとらえて簡単な内容を理解することができる。 ◎選択肢を与えられて正答を求める課題については、多くの生徒が正答を導くことができる。 △相手意識を伴って必要な意見をまとめたり、述べたりすることについては課題が残る。 △封筒の書き方を理解して書く設問では、文字の大きさや配列を正しく理解している生徒の割合が多くない。
数学
◎基本的な計算能力が優れており、文字式などを用いた計算や説明については得意な生徒が多い。 ◎図形の合同では、根拠を見つけたり、証明したりすることができる。 △関数について、苦手とする生徒が多く、式やグラフを利用して説明する力が弱い。 △数学的用語を適切に用いて説明する力が弱い。
英語
◎文中の空所に最も適切な接続詞を選択することができる。 ◎まとまりのある文章を読み、あらすじを理解することができる。 △聞いたことをもとにして書く、読んだことをもとにして書くといった技能統合の問題の正答率が低い。 △与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意して書く設問や過去時制の正答率が低い。



「学力」とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子どもたちが生きるために必要とされる大切な力（知識、技能、思考・判断・表現力、主体的に学ぶ力等）です。なお、本学力調査は学力全般を推し量るものではありませんが、一つの目安としてご参考にして下さい。

### 3 質問紙調査の結果から \*肯定的な意見(あてはまる・どちらかといえば、あてはまる)を回答した%

#### ★良好なもの

- ◎家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。
- ◎自分の考えがうまく伝わるよう、資料の文章、話の組み立てなどを工夫して発表する。
- ◎生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。
- ◎読書が好き。

#### ★課題となるもの

- △外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい。
- △学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。

【2時間以上の学習】: 本校 20.9% 全国 35.5%    【1時間以上の学習】: 本校 63.8% 全国 69.8%】

### 4 全国学力調査、質問紙調査を踏まえた改善策について

#### 基礎基本の定着に向けて

- ・授業では毎時間、「課題」「今日の流れ」「まとめ」を板書し、授業の可視化に努めるとともに、学びの自覚化を進める。
- ・生徒が見通しを持って家庭学習に取り組むために各教科の課題の提出日を曜日ごとに分けて行う。
- ・授業の最後に個の時間を確保し、「まとめ」「振り返り」の充実を図る。

#### 活用力の向上に向けて

- ・話し合い活動の充実を図るために、「話し合いたくなる課題設定」や「学習形態」「ワークシート・資料提示等」の工夫を図る。
- ・教科共通で自分の考えを記述したり、発表したりする場面を設ける。また、資料活用の技能を身に付ける場面を適宜、設ける。

#### その他の取組

- ・温かい人間関係を育むための活動を積み重ね、安心して学び合える土壌づくりに努める。  
(学校行事、いじめアンケート、Q-U調査、面接週間など)

### ご家庭にお願いしたいこと

- ・物事について、根拠をもとにした自分の考えを持つことが求められています。日常の出来事を取り上げ「あなたはどう思うの?」「どう考えるの?」と問いかけてみてください。普段から、理由をもとに自分の考えを表現できることは、未来に生きる子どもたちに欠かせない学力です。
- ・インターネットやSNSは便利は情報ツールですが、その利用や使用について、ご家庭でルールを決めて、それを励行するようにご指導ください。過度な、不適切な使い方は人間関係のトラブルや生活の乱れ、体調の変化にもつながりかねません。
- ・地域の一員であるという自覚と態度を養うべく、部活動等にご遠慮されることなく、地域行事・活動に積極的に参加させてください。
- ・学校では1日に1~2時間程度の家庭学習を行うよう生徒たちに促しています。お子さんの学習計画を確認され、定期テストや確認テスト等に向けて計画の進行状況について支援や励まし、助言を適宜行ってください。



家庭と学校が連携して 健やかな子どもたちの育ちを見守りましょう。